

＼市長のバランスシートを公開しました／

今年も6月に公表された令和4年度の財務諸表を用いて「市長のバランスシート」を作成しました。この「市長のバランスシート」は、千葉商科大学の吉田寛先生の指導に基づくもので、市が公表する財務諸表のうち、市民の財産と市長の財産を分け、市長の財産のみのバランスシートを作成するというものです。今年は都倉市政3年目の評価となり、就任直前及び令和3年と比較しています。昨年までと異なり、市民一人当たりの「将来の税金」が就任時及び前年度よりも減少する結果となりました。主な要因として、コロナ患者に対する空床確保による補助金のおかげもあり、高砂市民病院の経営が安定したことなどにより、現金・預金や各基金への積立を順調に行えたことがあると分析しています。ブログにも記載していますので、併せてご覧いただければと存じます。

高砂市長のバランスシート（各年度末現在）

	人口	90,462	88,968	88,166	単位：円	住民一人当たり
	令和元年度全体	令和3年度全体	令和4年度全体	令和元年度全体	令和3年度全体	令和4年度全体
《資産の部》						
流动資産 A	129,486	210,224	265,140	流动負債 D	95,461	93,700
投資等 B	40,884	38,463	54,934	固定負債 E	1,128,245	1,252,047
資産合計 C=A+B	170,370	248,687	320,074			1,189,810
《将来の税金の部》						
将来の税金 F-C	1,053,336	1,097,060	996,025			
資産・将来の税金合計 F	1,223,706	1,345,747	1,316,099	負債合計 F	1,223,706	1,345,747
						1,316,099
《資産の部》						
流动資産 A	11,713,553	18,703,251	23,376,303	流动負債 D	8,635,581	8,336,337
投資等 B	3,698,414	3,421,935	4,843,338	固定負債 E	102,063,296	111,392,110
資産合計 C=A+B	15,411,967	22,125,186	28,219,641			104,900,764
《将来の税金の部》						
将来の税金 F-C	95,286,910	97,603,261	87,815,547			
資産・将来の税金合計 F	110,698,877	119,728,447	116,035,188	負債合計 F	110,698,877	119,728,447
						116,035,188

ブログ



連絡先



しまづはるかにもご意見をお寄せください。
ブログやSNSでも、活動内容等を配信しています！

Address 〒676-0071 高砂市伊保東 2-2-23

Tel/Fax 079-439-2733

HP <https://shimazuharuka.com>E-mail shimazu.takasago@gmail.comブログ <https://shimazuharuka.com/blog>

@shimazu_haruka

島津明香



YouTube



LINE より相談を受け付けています！

公式LINEからもご相談をお受けしています。公式LINEは、
私の発信は皆様に一斉にお送りすることになりますが、
いただける返信は私にしか見られないようになっています。
安心してご相談ください。



このコードは音声コード「Uni-Voice」です。
専用アプリで読み取ると内容を音声で聞くことができます。



SHIMAZU

HARUKA

しまづはるか



6月議会主な議案内容

新たな学校づくり推進審議会条例

この条例は、学校の統廃合を含む学校の適正規模や配置、通学区域に関する具体的な議論を行う審議会を設置するものです。教育長と市長がそれぞれの権限のもとで、地域の実情に合わせた最適な方針を示すことが期待されています。住民説明会の開催も予定されており、透明性の高い議論と情報公開に期待したいと考えます。

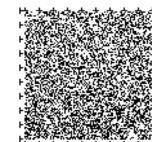
野球場改修に関する設計業務委託

高砂市野球場の改修に関する予算が提案されました。スコアボードの電光掲示板化やフィールド改修工事が含まれています。私は市民の皆様に計画の方向性を示すことが重要であると考えています。公共施設全体最適化計画との整合性を図りながら、高砂市のスポーツをどうしていくのかという視点で考えていきたいと思います。

学校運営協議会の位置づけ変更

学校運営協議会の役割が見直され、地域と学校がより密接に連携する体制が強化されます。地域の声を反映した学校運営が期待されます。

このコードは音声コード「Uni-Voice」です。
専用アプリで読み取ると内容を音声で聞くことができます。



VOICE

保育に関する課題について

VOICE

今回は未就学児の子育て支援について、保育園をベースに質問しました。保育園就園や保育料については市民の方からもご意見をいただく機会が多かったこともあります、何より今回示された市長の施政方針には、未就学児の子育てに関することがほぼありませんでした。しかしながら課題はないとはいえない現状であるため、声を届けるべく質問しました。

令和6年度入園状況

令和6年度入園状況

主な答弁

- ・就園率は過去最高の**75.5%**
- ・待機児童は**ゼロを達成**
- ・希望園に入園できていない入所保留者は**19人**



令和6年度年齢別就園率

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
就園率(%)	12.0	60.0	66.4	96.1	99.2	99.6

高砂市は3歳未満の「未満児」も高い就園率であることが改めて明らかになりました。しかしながら一方で、待機児童には含まれないものの、いわゆる「隠れ待機児童」とされる、希望園に入園できなかったために就園をとりやめた入所保留者が19人いることがわかりました。ただ、預けられる子どもの数のピークはすでに過ぎていることから、今後の保育園施策には工夫も必要となってくると感じています。



保育料軽減に対する考え方

主な答弁

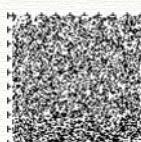
- ・現在は市独自の軽減策を実施中
- ・現行以上の軽減については、他市状況を調査研究するとともに、アンケート結果を踏まえ検討する
- ・多子カウントの基準は課題があると認識
- ・第二子以降であるにもかかわらず、年齢差により軽減を受けられていない子は**127人**
- ・多子カウントの基準変更による影響額は**4000～5000万円**と試算



現行の多子カウント基準では、上の子どもが小学校以上になると対象外となるため、実際は多子でありながらカウントされないケースがあります。市長も課題は認識しているとのことで、多くのお声をいただく多子カウントについては、引き続き市独自の見直しを求めていきたいと考えています。



このコードは音声コード「Uni-Voice」です。
専用アプリで読み取ると内容を音声で聞くことができます。



こども誰でも通園制度

主な答弁

- ・令和8年からの本格実施に向け、他自治体で試行中
- ・高砂市では入所保留者や保育士確保の課題から試行未実施
- ・ニーズ調査では「定期的に利用したい」が3割、「時間によって利用したい」が半数以上



こども誰でも通園制度は全国的な制度となります、高砂市の状況に合うのかどうかについては判断が必要であるかもしれませんと感じています。低年齢でも高い就園率があることから、独自の取り組みも視野に入れる必要があるか、考えていきたいと思います。



未就園の家庭への支援

主な答弁

- ・4歳児で5人、5歳児で3人が未就園である状況
- ・そのうち、4歳児の3人と5歳児の2人は海外で生活をしているなど状況が把握できている
- ・支援が必要な家庭には、保健師や家庭児童相談員が支援を行っている



未就園の家庭の中には、行政の支援が行き届いていない家庭もあることと考えています。まずはこどもたちの状況を把握することから始め、適切な支援を提供できる環境を整えられるよう、提案していきたいと思います。



就学前の子育て支援については、国も力を入れているところであるため、次々と制度が変わっていく中で、高砂市で子育てされている方が直面している課題は何であるのか、ニーズはどうなのか、しっかり見極めた施策展開が必要であると感じています。その他課題も多い中ではありますが、就学前の子育て支援が施政方針に含まれなかつことは非常に残念に思います。今後も皆様の声を届けていきたいと思いますので、ぜひご意見をお寄せください。



このコードは音声コード「Uni-Voice」です。
専用アプリで読み取ると内容を音声で聞くことができます。

